

令和 2 年度 第 1 回秋葉区自治協議会提案事業検討委員会 会議概要

日 時 令和 2 年 1 1 月 1 0 日 (火) 午後 3 時 3 0 分～
会 場 新津地区市民会館 第 3 会議室
出席者 委員 (名簿順)
小林委員、阿部委員、湯田委員、佐藤委員、島倉委員
事務局
地域総務課職員 2 名

内容

- 1 開会
- 2 協議題

(1) 令和 3 年度秋葉区自治協議会提案事業について

① 区自治協議会提案事業について

提案事業の制度及び提案事業検討委員会の役割について、再確認しました。

② 各部会の提案事業について

各部会の事業内容についての異議はありませんでしたが、次の意見を付して次期委員に引き継ぐことになりました。

第 1 部会：きらめきサポートプロジェクト

きらめきサポートプロジェクト終了後の団体の活動を検証する仕組みを検討してほしい。

第 2 部会：公共交通利用促進

公共交通空白地域を解消する手段を検討してほしい。

第 3 部会：AKIHA おとな大学 (仮)

コミュニティ協議会や地域とも連携して事業を実施してほしい。

③ 委員提出アイデアについて

「秋葉区ひな・お宝めぐり」

・提案事業として何ができるかを検討した結果、吊るし雛作成団体や展示施設の募集など、区民の誰もが気軽に参加できるような取り組みを企画し、実施したらどうかと意見がまとまりました。

「(仮称) 子育て広場スタイリッシュ化プロジェクト」

「(仮称) まちなかシェアオフィスプロジェクト」

・両事業とも、区民や地域団体と連携して地域課題の解決や区民の交流を図れる点では優れているが、施設整備などハード事業を伴っていること及び既に取り組みが進んでいることから、提案事業として自治協が関与することは難しいと意見がまとまりました。

令和3年度 秋葉区自治協議会提案事業（案）

担当部会	第1部会
事業名	きらめきサポートプロジェクト
目的・趣旨	地域の課題解決につながる事業を広く募集し、自治協議会が協働することで取り組みが深化するようなサポートプロジェクトを行うことにより、市民と行政、市民と他団体との「かけはし」となる。
事業概要	「きらめく」秋葉区に向けて、地域に眠る人財を発掘するため、地域課題の解決につながる事業を募集し、自治協議会が協働することで、取り組みが深化するような事業を選定し、実施する。
事業費	1,230,000円
その他	第1部会を主として横断的に実施

担当部会	第2部会
事業名	公共交通利用促進
目的・趣旨	「秋葉区生活交通改善プラン」に基づき、利用しやすい公共交通を検討するとともに、区内の公共交通情報を発信し、利用促進を図ります。
事業概要	<p>地域の実情に応じた適切な移動手段等を検討するため、地域ごとに公共交通の利用状況や移動ニーズ等を調査します。</p> <p>また、区バスの利用促進を図るため、時刻表等の情報を掲載したガイド等を作成・配布します。</p>
事業費	300,000円
その他	

担当部会	第3部会
事業名	AKIHA おとな大学 (仮)
目的・趣旨	<p>秋葉区の特徴や史跡・旧跡、魅力ある歴史を学んでもらうことで地域への愛着や興味関心をさらに高めるとともに、学びを次世代に引き継ぐ、未来につながる主体的な学びの機会とする。</p> <p>また、秋葉区の特徴や魅力の発信を行う人財の育成を行い、「AKIHAsumu プレーヤー (仮)」として認定し活動を支援する。</p>
事業概要	<p>一般向けに秋葉区について学ぶ講座を開催し、ジャンルを分けるなど複数コース設定する。各コース共に全5回程度開催する。</p> <p>Ex. A：歴史・史跡・旧跡コース B：秋葉区の特徴コース</p> <p>さらに、受講終了後に希望者を募りステップアップ研修を行い「秋葉区ガイド」を行える人財の養成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「コミぶら散歩」で作成した各コミ協のマップや「みりよくノート」を活用 ●各コースとも原則として全回参加。修了者（全回参加者）には修了証（AKIHAsumu プレーヤー (仮) の認定）を授与する。
事業費	612,000円
その他	「Akihasumu プレーヤー」：アキハスムの理念のもと、秋葉区の魅力発信や地域課題解決に取り組む人財などを想定 (仮)

担当部会	広報部会
事業名	コミュニティ FM を活用した自治協議会 PR 事業
目的・趣旨	秋葉区ならではの取り組みとして、コミュニティ FM を活用し、自治協議会の活動やかわら版「あきはくはつものがたり」の PR を行う。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月第2水曜日の12時20分から、30分番組「あきはくはつものがたり」の放送 ・自治協議会提案事業などの各部会 PR スポット CM の放送 ・かわら版「あきはくはつものがたり」を活用した PR
概算事業費	828,000円
その他	

担当部会	横断的
事業名	秋葉区ひな・お宝巡り
目的・趣旨	昨年、小須戸コミ協と中央コミ協が協力して実施した「雛町屋めぐり、新津お宝めぐり」を秋葉区全域に広げることで、各コミ協、商店街の活性化を図るとともに、区内はもとより区外からの人の流れを生み出す、秋葉区の新春行事として育てたい。
事業概要	小須戸コミ協と新津中央コミ協だけではなく、区全体が関わることができる祭りとなるよう、他のコミ協や区民誰でも気軽に参加できるような取り組みを検討する。 (例) 吊るし雛飾りの制作募集 吊るし雛飾りの展示施設・企業・店舗募集 など
事業費	800,000円

担当部会	横断的
事業名	秋葉区民幸福度調査
目的・趣旨	秋葉区民の幸福度調査を実施し、秋葉区に住む幸せを数値化して内外に発信するとともに、さらに幸せな区づくりのため課題を明確化する。
事業概要	秋葉区在住者を対象にアンケート調査を実施する。 調査結果を内外に発信するとともに、幸せを感じられるまちづくりへ向けた課題を明らかにする。
事業費	800,000円

令和3年度 秋葉区自治協議会提案事業予算書(案)

○支出

(単位:千円)

項目	内容	金額
きらめきサポートプロジェクト		
需用費(印刷製本費)	チラシ印刷	30
委託料	きらめきサポートプロジェクト (@400,000×3事業=1,200,000円)	1,200
小計		1,230
公共交通機関利用促進		
需用費(印刷製本費)	ガイド、アンケート用紙等印刷	300
小計		300
AKIHAおとな大学		
報償費	講師謝礼	50
需用費(印刷製本費)	チラシ、テキスト等印刷	50
需用費(消耗品費)	事務用品等	50
役務費(保険料)	レクリエーション保険	62
委託料	移動用バス運行委託、体験活動業務委託	400
小計		612
広報部会		
需用費(消耗品費)	統一ユニフォーム (@2,000×30人分×1.10=66,000円)	66
委託料	コミュニティFM番組制作委託 (@15,000×12回×1.10=198,000円) コミュニティFM20秒CM放送 (@1,950円×250回放送×1.10=536,250) コミュニティFMCM制作料 (@5,000円×5本制作×1.10=27,500円)	762
小計		828
秋葉区ひな・お宝巡り		
需用費(印刷製本費)	イベントチラシ、吊るし雛作り方説明書等印刷	500
消耗品	のぼり旗、展示用品	300
小計		800
秋葉区民幸福度調査		
需用費(印刷製本費)	封筒等印刷	100
役務費(郵便料)	返信用郵便料	400
委託料	集計作業委託	300
小計		800
合計		4,570

秋葉区民幸福度調査について

令和2年11月20日

1. これまでの経緯

秋葉区自治協議会では今年度の自治協提案事業の一環として「秋葉区民幸福度調査」の実施を予定しておりました。昨年度末にはそのための委員研修会も実施し、年度明けから調査チームを立ち上げて進めていく計画でした。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、現在のところ調査には着手できておらず、また、アンケートのプロセスと内容についても再設計が求められています。

2. 今後の進め方

本調査の目的である「区民の幸福に向けた効果的な施策立案のための客観的データの獲得」に立ち返ると共に、with コロナ時代を見据えたこの先のまちづくりを視野に、調査の再設計を行います。具体的には、今年度中に企画会議を実施して調査項目等を整理し、来年度前半の調査実施を目指すこととします。尚、調査項目の設計に当たっては、「小合地域全住民アンケート」などの実績を持つNPO法人まちづくり学校にコーディネートを委託します。

<スケジュール概要>

R2年度

- 11月 自治協本会議にて「秋葉区民幸福度調査企画会議」への参加希望の集約
- 12月 第1回企画会議（12/11 午後を予定）
- 1月 第2回企画会議 → 調査項目の設計
- 2月 第3回企画会議 調査項目案の提示 → 調査票の設計
- 3月 自治協本会議にて調査票の提示

R3年度

- 5月 調査実施
- 6月～7月 集計・分析
- 8月 自治協本会議にて調査結果の提示

3. 企画会議への参加について

別紙様式にて、本調査の企画会議への参加希望の有無をお知らせください。なお、参加の意思がある方には別途会議のご案内をお送りすると共に、ご都合が合わず当日参加ができない場合でも、別途意見提出をしていただく等の措置を講じることとします。